

未来の森林の担い手たち 木のぬくもりっていいね

川上第一小学校



自分が使う机、いすとあって真剣に組み立てています。



新しい机、いすが揃って教室も明るくなりました。



自分の体に合せて高さを調節

川上村では、昨年度から村内にある二つの小学校に地域産のカラマツを使った机、いすの導入を行っています。

十月九日、川上第一小学校の一年生と四年生の二学年約八〇名が自分で使う机、いすを保護者と一緒に組み立てました。

南佐久南部森林組合や製造業者の指導で、子どもたちは机といすの高さを体に合せた後、ねじを締めて約一時間程度で完成させました。

子どもたちは、「木の机といすはスベスベして気持ちいい」と自分で使う机の脚を何度もなでて、「卒業するまで大切に使いたい」と話していました。

また、森林組合、地方事務所林務課の職員から机、いすの材料となっているカラマツの特徴や森林を育てる話しを聞き、「木を使っていろいろと作ってみたい」と話していました。

川上村は、県の「木の香る学校推進事業」による補助を利用し、村内の小学校全児童分の整備を行う予定です。

「木の香る学校推進事業」

中小学校の児童・生徒が木に触れ合う機会を設け、森林・林業・環境教育の教材としての活用と県産材の利用を促進することを目的として県が実施。机・いすの導入等に対し補助を行う。